

# アグラフアの菊全マルCTP

渡辺美術印刷株（わじたま）市 業区南元宿二ノ四六、関根社長は、印刷会社のアウトソーシングに応え、実績を作ってきたが、日本アグ

ファ・ゲバルト㈱のケミカルレスプレート「アズーラ」に対応したが、「アズーラ」に対応した菊全と美しく、よりリアルに」を実現しようととしている。

◇ 渡辺美術印刷は、昭和二十

五年に創業し、三十年以上前

から四色機を導入してからカ

一印刷に取り組み、印刷会

社のアウトソーシングに応え、実績を作ってきた。現在

は、九〇%以上を大手の仕事

を行なうなど、その高い品質に

は定評があり、菊全判四×四

色機一台、菊全判四色機一台、

菊全判五色機一台の合計四台

で、印刷体制を実現しようど

トのケミカルレスプレート

「アズーラ」に対応した菊全

とて生産性の向上や原価削

減が特にクローズアップされ

るが、今後はスクリーニング

技術を使った高精細印刷への

移行が重要であり、そしてそ

一から話を聞くなか、日

本アグファ・ゲバルトの担当

営業から、CTPのメリット

として生産性の向上や原価削

減が特にクローズアップされ

るが、今後はスクリーニング

技術を使った高精細印刷への

移行が重要であり、そしてそ

の実現が、よりリアルに」を

実現しようととしている。

まだ、これまでプリプレス

正紙に印刷オペレータが色を

合わせて作り込んでいたが、

今後は社内基準を決め、数値

管理を行い、ばらつきのない

印刷物を作っていくという。

なお、「スブリマ」について

は、年度末である三月の繁

忙期に入っていますが、現在調整

中のため、稼動は四月以降に

なる。

今後の方針について関根社

長は「印刷会社のアウトソ

ーシングに応えるためには、で

きる最高の品質を提供し、

一枚たりとも不良品を出さな

T P導入で、そのための一つ

の階段を登ったと思う。そし

てスブリマを実践し、印刷物

を最高の品質のものにして、

その美しさをお客さまに知り

ていただきたい」と語り、同社の掲げる「もう一

歩進めていく」としている。

群であり、オペレーターがイン

キキーを調整することがほと

んどの状況になっている。

そしてCTPを導入したと

いう高精度印刷が誰にでも簡

単に印刷できるスクリーニン

グ技術。

日本国内にすでに100社

以上のユーザーで導入され、

一般的な高精細印刷やFMS

が経過したばかりだが、その

間に「1000版を出力し、全

くヤレ版を出さないで立ち上

がるなど、そのポテンシャル

が発揮しておらず、関根社

長が「こんなにスマーズでい

いのかしら」と書うほどだ。

まだ、これまでプリプレス

部門を持っていなかったた

め、データの受け入れ体制か

らCTP出力までスマーズに

いくのが不安も多かった。そ

の点もアグファがPDF/W

ケミカルレスプレート対応画面インクジェット

ブルー「グランドシェルバ

マチック」と網点出力のでき

る第二世代インクジェットプ

ルーフ「ロゼットスター」フル

「ロゼットスター」の出力機を含むワーク

フローを設計し、スマーズで

シングルな流れと生産工程の

効率化を作り出している。

同社では、一ヶ月の出力目

標を1000版に設定してい

たが、準備期間の一週間に一

000版を出力したこと、

その数字をクリアすること

は確実であり、その目標を再

設定している状況だ。

もちろん印刷現場でも、印

刷の見当精度、プリプレスデ

タに応じた色合せも抜

りに進めていくとしている。

「アバロンLF XT-Aズーラ」

導入してからカ

ー印刷に取り組み、印刷会

社のアウトソーシングに応え、実

績を作ってきたが、日本アグ

ファ・ゲバルト㈱のケミカル

レスプレート「アズーラ」に

対応した菊全判サーマルC

TPシステム「アバロンLF

XT-Aズーラ」の導入を決定した。

「アバロンLF XT-A

ズーラ」を導入し、約一週間

が経過したばかりだが、その

間に「1000版を出力し、全

くヤレ版を出さないで立ち上

がるなど、そのポテンシャル

が発揮しておらず、関根社

長が「こんなにスマーズでい

いのかしら」と書うほどだ。

まだ、これまでプリプレス

部門を持っていなかったた

め、データの受け入れ体制か

らCTP出力までスマーズに

いくのが不安も多かった。そ

の点もアグファがPDF/W

ケミカルレスプレート対応画面インクジェット

ブルー「グランドシェルバ

マチック」と網点出力のでき

る第二世代インクジェットプ

ルーフ「ロゼットスター」フル

「ロゼットスター」の出力機を含むワーク

フローを設計し、スマーズで

シングルな流れと生産工程の

効率化を作り出している。

同社では、一ヶ月の出力目

標を1000版に設定してい

たが、準備期間の一週間に一

000版を出力したこと、

その数字をクリアすること

は確実であり、その目標を再

設定している状況だ。

もちろん印刷現場でも、印

刷の見当精度、プリプレスデ

タに応じた色合せも抜

りに進めていくとしている。

「アバロンLF XT-A

ズーラ」を導入してきた」と

話す。

CTPの検討に入り、各メ

ディア「アバロン」に高い高い

印刷品質で同社の掲げる「もう

ひとと美しい」と美しく、よりリアルに」を

実現しようととしている。

◇ 渡辺美術印刷は、昭和二十

五年に創業し、三十年以上前

から四色機を導入してからカ

一印刷に取り組み、印刷会

社のアウトソーシングに応え、実

績を作ってきたが、日本アグ

ファ・ゲバルト㈱のケミカル

レスプレート「アズーラ」に

対応した菊全判サーマルC

TPシステム「アバロンLF

XT-Aズーラ」の導入を決定した。

「アバロンLF XT-A

ズーラ」を導入し、約一週間

が経過したばかりだが、その

間に「1000版を出力し、全

くヤレ版を出さないで立ち上

がるなど、そのポテンシャル

が発揮しておらず、関根社

長が「こんなにスマーズでい

いのかしら」と書うほどだ。

まだ、これまでプリプレス

部門を持っていなかったた